



平成 29 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 協 栄 産 業 株 式 会 社
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 水 谷 廣 司
 (コード番号 6973 東証第一部)
 問 合 せ 先 取 締 役 村 本 篤
 常 務 執 行 役 員
 (TEL 03-3481-2111)

第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 12 日に公表した平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）の業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値との差異(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	27,000	90	40	10	3.28
今回実績 (B)	26,822	85	98	75	24.61
増減額 (B-A)	△177	△4	58	65	-
増減率 (%)	△0.7	△4.8	146.2	650.3	-
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	25,347	△4	△74	△90	△29.53
(ご参考) 前第 2 四半期実績比 (%)	105.8	-	-	-	-

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。「1 株当たり四半期純利益」につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

2. 理由

当第 2 四半期累計期間の連結業績は、売上高及び営業利益は、アミューズメント市場縮小の影響を受けましたが、商事部門で、自動車関連、白物家電関連及び産業機関連向けの半導体デバイスの需要が増加したこと、自動車部品製造向け及び各種製造装置向けの FA 関連装置の販売が好調に推移したことにより、概ね公表値通りとなりました。また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業外損益において想定レートより為替相場が円安傾向で推移し、為替差損益が改善したこと等により、平成 29 年 5 月 12 日発表の公表値を上回ることとなりました。

なお、通期連結業績予想につきましては、米国新政権の政策の行き詰まりや地政学的なリスクの高まりなど、依然として先行きは不透明な状況が続いているとともに、アミューズメント市場の動向が不透明なため、平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました数値を据え置いております。

以 上